



2022年7月28日

各位

会社名 ホシデン株式会社
代表者名 代表取締役社長 古橋健士
(コード番号 6804 プライム市場)
問合せ先 執行役員社長室長 鶴 隆文
(TEL 072-993-1010)

営業外収益（為替差益）の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年3月期第1四半期連結累計期間（2022年4月1日～2022年6月30日）におきまして、営業外収益（為替差益）を計上する見込みとなりましたので、お知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、2022年5月13日に公表いたしました業績予想を下記の通り修正いたしますので、お知らせいたします。

記

1. 営業外収益（為替差益）の計上

当社は、為替相場の変動により、2023年3月期第1四半期連結累計期間におきまして、営業外収益に為替差益41億円を計上する見込みとなりました。

なお、上記は2023年3月期末時点の為替差益であり、今後の為替相場により第2四半期以降の為替差損益は変動いたします。

2. 2023年3月期第2四半期連結業績予想数値の修正（2022年4月1日～2022年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想（A）	百万円 89,000	百万円 4,200	百万円 4,700	百万円 3,600	円 銭 65.51
今回修正予想（B）	120,000	9,500	14,000	10,000	181.97
増減額（B - A）	31,000	5,300	9,300	6,400	
増減率（％）	34.8	126.2	197.9	177.8	
（ご参考）前期実績 （2022年3月期第2四半期）	96,788	6,588	7,410	5,994	106.18

（修正の理由）

売上高につきましては、第1四半期でのアミューズメント関連向けについて、新型コロナウイルス感染症の影響、物流状況、半導体等電子部品の入手状況を考慮した想定をしておりましたが、これらが想定より改善し、アミューズメント関連向け売上については大きく伸びいたしました。これに加え、為替相場が円安となったことにより、第1四半期の全体の売上はおよそ700億円となる見

込みとなり、これに伴い第2四半期の売上予想を修正するものです。

営業利益につきましては、売上が伸びたこと、為替相場が円安となったことで売上総利益が大きく改善し、第1四半期で営業利益が67億円程度となる見込みで、これに伴い第2四半期の営業利益予想を修正いたします。

経常利益につきましては、営業利益に上記1.の為替差益を加え、第1四半期で110億円程度となる見込みであり、これに伴い第2四半期の経常利益予想を修正し、同時に親会社株主に帰属する四半期純利益も修正するものです。

なお、この業績予想における為替レートにつきましては、1米ドル136円を前提としております。

3. 2023年3月期通期連結業績予想数値の修正（2022年4月1日～2023年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 210,000	百万円 10,000	百万円 11,000	百万円 8,500	円 銭 154.67
今回修正予想（B）	未定	未定	未定	未定	未定
増減額（B - A）					
増減率（%）					
（ご参考）前期実績 （2022年3月期実績）	207,608	11,725	15,786	11,901	211.57

（修正の理由）

2023年3月期通期の連結業績予想につきましては、半導体をはじめとする電子部品について、当社及び顧客の調達状況が見通せないことに加え、為替相場も不安定であることから連結業績を合理的に算定することは困難であり、未定とさせていただきます。今後、業績予想の算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

上記の業績予想は、現在入手可能な情報による当社の判断に基づく将来の予測であり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。さまざまな潜在的リスクや不確定要素を含んでおり、実際の業績はさまざまな重要な要素により、記載された見通しと大きく異なる可能性もあり、これらの見通しに過度に依存されないようお願いいたします。

以上